

堅果類豊凶調査結果概要(速報)

資料 1

■ 豊凶の判定基準

豊凶区分	大豊作	平年値を基準とした場合、極大値の2/3以上
	豊作	平年値を基準とした場合、極大値の1/3以上2/3未満
	並作上	平年値を基準とした場合、極大値の1/3未満
	並作下	極小値を基準とした場合、平年値の2/3以上
	凶作	極小値を基準とした場合、平年値の1/3以上2/3未満
	大凶作	極小値を基準とした場合、平年値の1/3未満

■ 過去5年間の豊凶判定

豊凶区分	樹種	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
豊凶区分	ブナ	大凶	豊	大凶	豊	大凶
	コナラ	並下	大豊	大凶	凶	豊
	ミズナラ	凶	大豊	大凶	並下	豊
	3種合計	凶	大豊	大凶	凶	豊

豊凶指数

ブナ コナラ ミズナラ

×	×	×	0	ほぼ全く結実がない
○	○	○	0.1 - 0.6	ほとんどの木で、少量以下の結実
○	○	○	0.7 - 1.2	多くの木で、並みの結実
○	○	○	1.3 - 1.8	一部の木で大量の結実
○	○	○	1.9 - 2.4	半数以上の木で大量の結実
○	○	○	2.5 - 3.0	ほぼ全ての木で大量の結実

■ 調査手法

- ・ 観測地点数は、コナラ214地点、ブナ15地点、ミズナラ14地点である。
- ・ 毎年9/6-20の期間に、各観測地点で調査を行った。
- ・ 各地点では、10本の供試木を目視し、その豊凶度を4段階(0,1,2,3)判定した。
- ・ 10本の供試木の豊凶度の平均値を、その地点の豊凶指数とした。

